

お見合いシステム
2023年度

成婚数100組超

県庁2階にある「あいたか」。主な事業は会員だけが利用できる1対1のデータマッチングシステム「お見合いシステム」の運用で、2017年のシステム導入以来、成婚数は473組に上る（24年9月末現在）。同様のシステムを活用している全国の約30自治体に比べても、トップクラスの成婚数だ。久保山健司センター長は「県が婚活支援に力を入れていて、2年ごとにシステムのバージョンアップを行っている」と理由を挙げる。

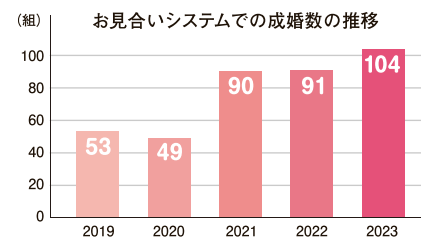
今年1月にスタートした「複数お引き合わせ・お友だち交際機能」は複数の方への申し込みが可能になり、最大3人の相手とお友だち交際が可能となった。それまで申し込みは1人の結果が出るまで他の人を検索することも、検索されることもできなかった。これによりお引き合わせ（マッチング）した人同士が直接会う。久保山センター長は「会員にとっては確実にチャンスが広がった」と分析する。



JR長崎駅構内のデジタルサイネージで「あいたか」をPR

全国トップクラスの実績

こども家庭庁が10代から30代を対象に実施した結婚に関する調査で、既婚者の出会いのきっかけはマッチングアプリが最多となった。回答者の25%を占め、職場や仕事関係、学校などを上回った。結婚相手はアプリで探す時代とも言えそうだが、長崎県婚活サポートセンター「あいたか」のお見合いシステムを利用して成婚したカップルは昨年1年間で100組を超えた。アプリにない出会い方で実績を積み上げてきた「あいたか」を深掘りする。



お見合いシステム

3つの安心

- ① 独身証明、本人確認が万全!
- ② 氏名・住所は非公開!
- ③ お引き合わせにはサポーターが立ち会い!

ながさき縁結び新聞

長崎県



あいたか

長崎県のお見合いシステム

登録



まずはここから

長崎県婚活サポートセンター
〒850-8570 長崎市尾上町3-11 県庁2階
TEL 095-893-8860

人が人をつなぐ温かさ

ポーターが立ち会うが、サポーターは県内に述べ約100人おり、20代、70代のボランティアが務める。マッチングした会員同士はお引き合わせが初対面となるので、サポーターが会話を促し、2人の緊張をほぐしてくれる。その後も付き合い方など個々の相談に乗ってくれる。一方、専門家による相談会（毎週）やセミナーを開催し、精神面でのサポートも欠かさない。「アプリにない出会い方、人気の秘密は人が人をつなぐ温かさにあった。」

「お見合いシステム」登録から交際までのイメージ

STEP 1 入会申し込みと会員登録

サイトから仮登録し、プロフィール入力後、来所またはオンライン面談の予約をする。必要書類の確認と面談が済むと会員登録完了!

STEP 2 お相手探し

自宅パソコン・スマートフォンまたは「あいたか」専用端末で閲覧・検索し、お引き合わせの申し込みをする。

STEP 3 お引き合わせ

サポーターがお引き合わせの日程を調整。
※県外・離島の場合は、オンラインのお引き合わせも可能。

STEP 4 交際、そして結婚

お引き合わせ後、お互いの交際意思が確認できたら交際スタート!! 交際中もサポートあり。

2024年入籍・Sさん夫婦

イベント積極的に活用

今年7月に入籍し、2025年4月に挙式予定のSさん夫婦。出会いのきっかけは、「あいたか」で行われているさまざまなイベントの一つだった。妻のRさん(30)が、会員限定のプロフィール写真撮影会に参加。その写真とともに夫のSさん(38)にアプローチしたところ、Sさんも好印象を持った。

県のお見合いシステムを選んだ理由を、Sさんは「婚活アプリは気軽に登録できるが、ここは「あいたか」へ足を運ぶなどの手間がある。真剣に結婚したい人と出会えると思った」と語る。その思いが実現し、一緒に旅行をするなど、共通の趣味を楽しむ中で距離を縮めて成婚した2人。「いつかはこどもを産み、家族仲良く過ごしていきたい」とほほ笑んだ。

祝

成婚者の声



2024年入籍・Hさん夫婦

県運営に信頼と安心感

Hさん夫婦は2023年9月に巡り合い、半年後の24年5月に挙式・入籍した。県のお見合いシステムに、夫のHさん(34)と妻のYさん(31)は「安心感があり、プロフィール情報が充実していた」「独身証明書の提出で信頼できた」とメリットを挙げる。

お引き合わせ当日はサポーターが同席。Hさんは「サポーターさんが場を和ませてくれて緊張がほぐれた」、Yさんも「その後もサポーターさんにいつでも相談できて心強かった」と振り返る。互いに「話しやすく一緒にいて落ち着ける」と実感し、交際をスタートさせた。家族になって約半年。2人は「こどもを2人くらい産み育て、穏やかな家庭を築きたい」と笑顔で語った。

重要な「はじめの100か月」

これからますます複雑化する社会に適応し、幸せに生きるためには「非認知能力」を高めることが大切という認識が広がってきている。「非認知能力」とは忍耐力、好奇心、社会性、共感性、自制心などを指す。

誕生前から幼児期までの「はじめの100か月」は、その後の長い人生を歩む上で、この非認知能力が培われる最も重要な期間とされている。長崎県が2023年に設置した県幼児教育センターは主に幼稚園教諭や保育士などを対象に、幼児期から「非認知能力」を育成する重要性や子ども主体の保育の良さなどを伝えている。具体的には各施設で通常の保育を観察した後、研修会で場面ごとに遊びの価値や保育者の関わりなどをアドバイスしている。特に、子どもが主体的に遊ぶ中に学びがあることを、具体的な場面の写真を通して伝えている。これまでに県内の約140カ所での研修を実施した(24年9月末現在)。

これからますます複雑化する社会に適応し、幸せに生きるためには「非認知能力」を高めることが大切という認識が広がってきている。「非認知能力」とは忍耐力、好奇心、社会性、共感性、自制心などを指す。

長崎県ひとり親家庭等自立促進センター



長崎市茂里町に移転しました



新住所・お問い合わせ

長崎市茂里町3-24
県総合福祉センター 県棟2F
電095・801・4445
※番号の変更なし

「こころのねっこ」から始める『こころのねっこ』を乳幼児期にみんなで育みたい。今後多くの施設を回り、保育について研修をしていきたい」と話している。



ココロねっこ新聞

長崎県



ココロねっこ運動とは

県では、子どもたちを健やかに育むための取り組みを「ココロねっこ運動」として推進しています。(長崎県子育て条例第22～24条)

取り組みの例

- 地域の子どもたちにあいさつをします
- 学校や地域行事などに参加しやすい職場にします
- 「家庭の日」は家族で過ごす時間を大切にします ※「家庭の日」：毎月第3日曜
- 子どものスマートフォンにはフィルタリングを設定します

登録者数は6545人・団体(2024年9月末現在)

登録者を募集中!!
長崎県青少年育成県民会議
TEL.095-824-7510



子どもの声に耳を傾け、親子で一緒に利用のルールづくりを行いませんか?

ゲーム・スマホ・テレビのルール 大人が押し付けていませんか?

県は「子どもメディアサミット」を今年初開催!小中学生が、自分たちでメディア利用のルールを考え、大人に対してアピールしました。

【長崎市】2024年7月28日:長崎県庁大会議室 【佐世保】2024年8月4日:長崎県立大学佐世保校

ワークショップ① 電子メディアの「よさ」と「リスク」

② 大人からの情報共有タイム

③ 私が考えるより良い 使い方アイデア(大人への提言)

サミットの様子はコチラ



LINEで便利に「ココロンパスポート」♪

「ながさき子育て応援の店」をご存じですか?お店で使える「ココロンパスポート」を県の公式LINEアカウントから利用できるようになりました。県内約2,500のお店も、LINEから検索できます。

ながさき子育て応援の店とは
※カードタイプのパスポートも発行できます

ココロンのステッカーがあるお店で、デジタルパスポートを見せると、お得・便利なサービスが受けられます。

サービスはお店によっていろいろ!

- ・すまいるサービス:キッズスペース、お子様食器など
- ・とくとくサービス:割引、おまけなど

対象は小学生まで! ※一部、未就学児対象の店舗があります

全国で使えます! ※一部、県外のパスポートが使えない店舗があります



友だち登録はこちら!



お申し込み・お問い合わせ

長崎県ハッピーライフデザイン応援サイト

ながハピ!



長崎県青少年育成県民会議
長崎県子ども未来課

TEL.095-824-7510
TEL.095-895-2685